

指定管理者制度導入施設の将来ビジョン

施設名	大分県立フェンシング場
所在地	大分市青葉町1番地
県の所管部局(課・室)	教育庁 体育保健課
設置年月日	平成11年4月28日(設置から21年11か月)※令和3年4月1日現在
設置目的	県民の体育及びスポーツの振興を図り、健康で文化的な生活の向上に寄与するため。
指定管理期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日

【検討結果】

施設の今後のあり方

存続 (利活用)	存続 (整理統合)	廃止
理由	<p>①県内唯一のフェンシング専用屋内施設で、小学生から社会人が、週4日～5日利用。</p> <p>②東京2020オリンピックに本県ゆかりの選手が3名(※)出場、これまでの国体での本県内の競技別得点の合計が2位と、今後も強化戦略上最重要競技の一つとして、重点強化を図る。</p> <p>③本県フェンシング競技の競技水準の高さに加え、東京オリンピックによるフェンシング人気もあることから、今後の安定的な利用が見込まれる。</p> <p>①～③の理由により、本県フェンシング競技の拠点施設として、競技力向上のため引き続き存続する必要がある。</p>	
管理方法の検討(存続の場合)	<p>県内フェンシング競技の強化拠点施設として、競技力の向上のため、引き続き公募による指定管理を継続する。</p>	

ビジョンの設定期間

ビジョンの設定期間	令和4年度～令和13年度
次回策定(中間見直し)	令和8年度
次回指定管理者公募予定	令和4年8月

存続の場合

1. 目指すべき施設像及び利用者像等

施設像	長期的展望に立った選手強化を図り、フェンシング競技の競技力向上に寄与できる施設を目指す。		
利用者像	①初めてフェンシングを体験する小学生及びジュニアクラブ(小・中学生)の選手 ②高等学校のフェンシング部で活動している生徒 ③国内外の大会出場を目指す大学生及び社会人 ④県外の優秀チーム(選手)		
定量的 目標達成指標	①	年間利用者数	令和 5年度～令和 9年度 12,000人／年
定性的 目標達成指標	①	フェンシング競技の普及振興 (当課のタレント発掘事業、体験教室等の様子をマスメディア、ホームページ、SNSで積極的に広報する。)	

